

—「平和教育」つぶしを許さない—

改憲と戦争への道をとめる！

# 12・16千葉県集会

12月16日(日)13時開始(開 場 12時半)

船橋市東部公民館 講堂

(JR津田沼駅北口徒歩5分パルコ裏)

※託児もあります



講 演：<sup>のおよし</sup>高嶋伸欣さん(琉球大学名誉教授)

—沖縄から平和教育を問う— (仮題)



報告①：平和教育つぶしとの闘い

「沖縄修学旅行平和学習プリント回収命令事件」について

報告②：国鉄千葉動力車労働組合から

「JR発足30年—地方切り捨てと民営化との闘い」

討 論：学校現場や、県内の労働組合、市民団体からの報告や  
討論を予定しています。

主催：「改憲・戦争阻止大行進運動・千葉」

千葉市中央区要町2-8 ちば合同労働組合内

電話043-225-2207 union1@outlook.com

今年6月、千葉県の高校で沖縄戦を記述した平和学習のプリントが生徒に配布された直後に学校側によって回収されることがありました。その後再配布は認められましたが、今度は県教委がのりこんでプリントの一言一句まで訂正する検閲が県内全域で行われようとしています。

琉球新報 2018年8月11日(土)

### 沖縄に鈍感な県外

永井 英司 64歳

6月末、沖縄修学旅行のための学年集會が開かれた。私は学習係として「おきなわ通信」2号と3号を配り話をした。2号は文化、3号は「1995年米兵少女暴行事件」を扱った。次の時間に校長から通信3号の回収命令が出た。学年はそれに従った。

私は校長に抗議に行つた。「3号の何が悪いのか」。私の問いに校長は「事件が悲惨だ。親からクレームが来ないか心配」と答えた。私は過去3校でも同様に使用したがクレームは全くなかつたと言つと、校長はならば再配布は構わないと言つた。

しかし、いったん出た回収命令の後、再配布はされなかつた。3号通信の話はタブー視され沈黙の中で1カ月が過ぎ夏休みに入つた。「はだしのゲン図書館から撤去」事件と同質の本事件であるが、問題は一つ。回収という行為の妥当性。二つ目は少女暴行事件は沖縄の平和・基地を考える上で省いていいのかである。

平和の犠牲者の立場から、「沖縄」に鈍感になつてしまつた県外の人の目を覚まさせたい。

(千葉県市川市、高校教諭)

また2015年には別の高校で安保法に反対の署名を生徒名簿を使って郵送した元教員に対して、県教委が「個人情報保護法違反」だとして、告訴するという事件も起きています。

安倍政権は2020年までに改憲を行おうとしており、今の国会で改憲発議させないことが重要です。

自治体や学校を先頭に、現場から改憲と戦争をとめるために、多くの労働者・市民のみなさんに呼びかけます。

—講師のプロフィール— 1942年生まれ。1968年、東京大学・大学院文学研究科地理学専攻修士課程修了。1968年より東京教育大学附属高等学校（現・筑波大学附属高等学校）社会科教員をへて、現在は琉球大学名誉教授。東南アジアの歴史研究と、国に対して10年に及ぶ教科書裁判を行う。